

ソチ・パラリンピック

初志貫徹の金



第7号

逆転勝利を果たした鈴木選手(写真は別大会)



山崎善久理事長にメダル獲得を報告(駿大で)

メダリスト あす

鈴木猛史

銀座通りで祝賀パレード

駿大職員

「おめでどう、猛史——」。見事、金と銅のメダルを手にした鈴木猛史選手(25)は、大会を終え、母校で職場などにもある駿河台大学へ報告し、上司や同僚などにメダルを披露した。快挙を称えた飯能市と駿大は30日、銀座通りで祝賀パレードを行うことを決めた。当日は午前10時45分から市役所別館2階で結果報告会、同11時25分から飯能商工会議所前の小町公園でセレモニーが行われ、銀座通りへ。銀座通りは午前10時半から午後12時半まで交通規制される。

高校2年でトリノパラリンピックに初出場し、同大学3年生でのバンクーバーでは大回転で銅メダルを獲得した。それだけに3度目の正直、ソチにける意気込みは熱かった。「3度目の正直、金メダルを取りたい。悲願のメダルを手にした大会を振り返る。

「今日はおもしろい滑りを見せたかったが、あのバーンでこれが限界だった。苦しいバーンだった。自分が1位となった瞬間は驚きの大きかったが、段々と嬉しさが込み上げてきた。」

「両親が見ている前で金メダルを取ることができて、一番最初に親に掛けてあげたかった。ここまで育ててくれたことへの恩返しできたかな。」

おめでどうございます。本学の卒業生で職員の鈴木猛史さんが、ソチ・パラリンピックのアルペン種目、スキージョーイングで金メダル、滑降で銅メダルを獲得したことは、駿河台大学の全教職員、学生に大きな感動と喜びを与えてくれました。鈴木猛史さんは、高校生の2006年にトリノ・パラリンピックに初出場し、本学進学後の2010年のバンクーバー・パラリンピックでは、大回転で銅メダルを獲得しました。今回は見事金・銅2つのメダルを獲得し、さらなる高みに到達されました。これは日頃のたゆまぬ努力の成果であり、高い目標を胸に日々練習を積み重ねて、世界の舞台で輝かしい成果をあげられた姿は、日頃鈴木さんと接している本学の学生さん達に、地道な努力の積み重ねの大切さと、人生で高い目標を持つことの大切さを教えてくれたことと思います。



息子の雄姿を見るため応援に駆け付けた両親



その活躍を称え横断幕を掲げる大学



鈴木選手と共にメダル獲得を喜び同期職員たち

チャンネル	番組名	放送時間
11ch	飯能日高テレビ	29日(土) 19:30-20:30
7:00	ヤオコー高麗川店今日の目玉	
8:00	飯能市役所インフォメーション	
9:00	パブリック・アクセス◇体操	
10:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
11:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
12:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
13:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
14:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
15:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
16:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
17:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
18:00	街コロシアム◇情報玉手箱	
19:00	街コロシアム◇情報玉手箱	